

エンドレ・セメレディ

エンドレ・セメレディは1940年8月21日、ハンガリーのブダペストで生まれた。彼はブダペストのハンガリー科学アカデミー、アルフレッド・レーニ数学研究所の永久研究員である。また1986年以降は米国、ニュージャージー州立大学ラトガースのコンピューター・サイエンスの教授でもある。

セメレディはスタンフォード大学(1974年)、モントリオールのマギル大学(1980年)、サウス・カロライナ大学(1981年-1983年)、シカゴ大学(1985年-1986年)で客員を務めた。また、1987年から1988年にかけてカリフォルニア工科大学のフェアチャイルド・ディステイニングイッシュト・フェローであった。モントリオール大学、数学研究センターのアイゼンシュタット・チエアーも授与されている。2008年、セメレディはバークレーの数学研究所のアイゼンバッド・プロフェッサーであった。

エンドレ・セメレディは非凡な研究能力を持った数学者と評されており、彼が今日の数学に与えた影響は極めて大きい。しかしセメレディの数学者としてのスタートは遅かった。彼は一年間医学部に通い、数学に転向する前、工場で働いた。エンドレ・セメレディはブダペストのエトヴェシュ・ローランド大学で学び、1965年に修士号(M.Sc.)を取得した。そして彼はモスクワ大学に移り、イスラエル・M・ゲルファントの指導のもとで、1970年に博士号を取得した。

エンドレ・セメレディの非凡な数学の才能は、彼がブダペストで若き学生であった時、恩師、ポール・エルデシュによって見出された。セメレディは幾つかの極めて重要な基本定理を証明して、師の大きな期待に応えた。その成果の多くは、彼の将来の研究へと発展し、数学の新たな方向の基盤を据えたのである。エンドレ・セメレディは200以上の学術論文を出版している。

2010年、セメレディの70歳の誕生日を祝って、アルフレッド・レーニ数学研究所とヤーノシュ・ボーヤイ数学会は、彼の業績を讃える会議をブダペストで開いた。会議に先立って出版された『不規則な心』(An Irregular Mind)の中では、「セメレディは『不規則な心』を持っている。彼の頭脳は、殆どの数学者とは異なるように配線がめぐらされているのだ。私たち、多くの者は彼の独特な考え方、卓越した洞察力を賞賛する。」と述べられている。

アーベル賞委員会の言を引用すると、エンドレ・セメレディは2012年のアーベル賞を「離散数学と理論的コンピューター・サイエンスへの貢献に対して、その加法的整数論とエルゴード理論への深遠且つ恒久的な影響を認めて」授与される。

離散数学はグラフ、数列、順列、幾何学的図形などの構造の研究である。こうした構造に関する数学は、理論的コンピューター・サイエンスと情報理論の基盤を形成

する。セメレディ教授は理論的コンピューター・サイエンスの重要性を最初に理解した学者のひとりであった。

賞と栄誉:

エンドレ・セメレディには、その数学とコンピューター・サイエンスへの貢献に対して、多くの賞と栄誉が授与されている。2008年には、米国数学会より、研究への発展性のある貢献に対してリロイ・P・スティール賞が授与された。同年、エンドレ・セメレディはスウェーデン王立科学アカデミーよりロルフ・ショック賞、数学部門を受賞した。その他の主な受賞は以下の通りである。

- グリュンヴァルト賞(1967年)
- グリュンヴァルト賞(1968年)
- レーニ賞(1973年)
- 応用数学における功績に対するポリア賞(応用数学会SIAM) (1975年)
- ハンガリー科学アカデミー賞(1979年)

エンドレ・セメレディはハンガリー科学アカデミーの通信会員(1982年)、会員(1987年)であり、米国科学アカデミーの会員(2010年)である。また彼はプリンストン大学の高等研究所(IAS)の研究者である。2010年、セメレディはチェコ、プラハのカレル大学の名誉博士となった。